

平成 27 年度 メイクアップ ラボ プロジェクト
メイクアップ分野における中核的専門人材養成のためのプログラム開発と実証



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY JAPAN

平成27年度文部科学省委事業

「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業

メイクアップ ラボ プロジェクト

・メイクアップ分野における中核的専門人材養成のためのプログラム開発と実証：地方・企業版および上級編

・代表校：専門学校東京ビジュアルアーツ

評価会議関係者様各位

メイクアップ ラボ プロジェクトの評価委員について

メイクアップ ラボ プロジェクトではカリキュラム作成や実証講座の開講だけでなく、生徒の評価についての評価方法の検討をしています。

昨年度のメイクアップ アドバンス プロジェクトでは、学校の教員による評価方法の検討を行いました。具体的には、ルーブリック評価法およびポートフォリオ評価により、生徒の学修達成度の評価を行うこととし、ルーブリック評価では、メイクの初級、中級、上級における必要な知識および技術(評価規準・評価項目)を精査し、それぞれの項目について 3～4 段階で評価基準を設定し、規準および基準による評価マトリックスを作成し、立的な評価方法の検討を行いました。また、作成したテキストには、ルーブリック評価マトリックスを掲載し、生徒様にあらかじめ評価方法を周知し、学修過程でより注意が払われることになります。

本年度の メイクアップ ラボ プロジェクトでは、教授する側だけでなく、実際に現場で活躍するアーティストの方々の意見集約やコンセンサスの形成を目的として会議を開催します。最期に、教員サイドと現場サイドの意見の取りまとめ行いたいと思います。評価会議では各自評価マトリックスの作成等をお願いし、それらの意見集約を試みます。

本評価会議では、評価自体は、抽象的な議論だけでなく、実践的評価方法である必要があるために、ルーブリック評価法およびポートフォリオ評価法を取り入れていますが、議論をより活発化するために、本年度は、メイクアップのコンテストにおける評価方法についても、コンセンサスの集約を図りたいと思います。

しかしながら、コンテスト開催は多額の資金が必要となるために、本年度のプロジェクト予算では開催できません。本プロジェクトは数年間継続するとされていますので、コンテスト開催については次年度以降を目標としています。少なくとも、来年度は、フォトコンテストの開催を予定しており、まずは、フォトコンテストを見据えた評価方法の検討を一つの課題としていきたいと思います。

本評価会議は、エアーブラシメイクを対象とするものではなく、通常のハンドアプライのメイクアップを中心とした評価方法を検討するものです。

多くの方に、本会議に参加していただき、多角的、中立的な評価方法の確立とともに、メイクアップの質の向上をめざし、美容におけるクアアップの地位の向上や職業としてのメイクアップの地位の確立を目指すものです。

ぜひとも、本プロジェクトにご協力いただき、評価会議に参加されますようお願い申し上げます。

メイクアップ ラボ プロジェクト委員会

平成 27 年度 メイクアップ ラボ プロジェクト
メイクアップ分野における中核的専門人材養成のためのプログラム開発と実証



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

平成27年度文部科学省委事業

「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業

メイクアップ ラボ プロジェクト

・メイクアップ分野における中核的専門人材養成のためのプログラム開発と実証：地方・企業版および上級編

・代表校：専門学校東京ビジュアルアーツ

メイクアップ ラボ プロジェクト 実証講座参加募集(無料)のご案内

メイクアップ ラボ プロジェクトは文部科学省委託事業の平成 27 年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業に採択され、文部科学省の委託事業として数校のメイクアップ関係の専門学校と企業が連携し、東京ビジュアルアーツを代表校として、運営されています。

平成 22 年度にはエアブラシメイクアップ プロジェクト、平成 26 年度はメイクアップ アドバンスプロジェクトが採択され、実施してきました。本年度はメイクアップ ラボ プロジェクトを行います。

昨年度のメイクアップ アドバンス プロジェクトでは中核的専門人材(学校教員、講師、美容師、プロメイクアーティスト等)を対象として参加募集を行い実証講座を行い、49 の学校および 52 の団体・会社が参加しました。メイクアップ アドバンス実証講座では主に、エアブラシでのビューティメイク、エアブラシでのカバーメイク(タトゥカバー等)、特殊メイクでの傷等の作成、アプライアンスの装着、死化粧を取扱いました。これら実証講座を通じ、その課題ごとにユニット(学修単位)として構成し、カリキュラムおよびテキストを制作し、今年度(27 年度)の開講校に作成したテキストを配布しました。テキスト配布は 27 年 3 月末時点で 1075 冊(=生徒数)に及び、多くの学校で、メイクアップ アドバンスプロジェクトの内容が評価され、カリキュラムとして取り入れられています。

●メイクアップ ラボ プロジェクトでは以下のイベントへの参加(無料)を募集しています。

中核的専門人材養成のための実証講座であるので、教員、現役アーティスト(会社所属)、現役メイクアップ関係社会人が対象です。個人や生徒様は対象となりません。

1:メイクアップ ラボ実証講座(東京開催):メイクアップ ラボ プロジェクトでは、さらに上級の技術・理論の修得のための実証講座を行います。1 クール(1 クールは 6 回講座:ステップ 1~6)すべてのステップを受講する必要はありません。必要なステップのみ受講できます。

1-1:正規受講生(毎回 20 名程度:個別演習用材料を配布。一部持ち帰り課題提出)

1-2:聴講生(毎回 10 名程度:共用材料で演習。材料等の持ち帰りはありません。)

日程 ステップ 1 平成 27 年 11/7(土):ボディ ペインティング

ステップ 2 平成 27 年 11/14(土):エアブラシメイク(アート、カバーメイク)

ステップ 3 平成 26 年 11/15(日):ブライダル アート

ステップ 4 平成 26 年 12/5(土):坊主メイク(特殊メイク 1)

ステップ 5 平成 27 年 12/6(日):ひげ、エイジング等(特殊メイク 2)

ステップ 6 平成 28 年 1/23(土):死化粧

場所 専門学校 東京ビジュアルアーツ

〒102-0082 東京都千代田区四番町11 TEL 03-3221-0206

時間 10:00 より 17:00 予定(昼休憩あり・質疑やかたづけ等によって延長する場合があります)

平成 27 年度 メイクアップ ラボ プロジェクト
メイクアップ分野における中核的専門人材養成のためのプログラム開発と実証

2:メイクアップ アドバンス実証講座(地方・企業開催):1 クール(最大のべ 6 回の講座)

メイクアップ ラボ プロジェクトでは、昨年度のメイクアップアドバンスのカリキュラムの地方版および企業版を展開し、さらなるカリキュラムの普及および実証に取り組めます。実証講座ではカリキュラムは 6 日×8 時間で行いましたが、それでも時間不足であり、もっと時間を取ってほしいという要請が多くありました。しかし、予算等の制約の中で、中核的専門人材に必要な内容は多様であり、通常のカリキュラムとして演習等を入れると 60 時間～80 時間が必要になります。地方版および企業版では、地方・企業の特質に応じ、必要とされるユニットに特化した実証講座(無料)を開催します。例えば、エアーブラシビューティーだけとかタトゥカバーだけとか特殊メイクだけの講座を開催します。企業の研修の一環として、必要な課題の 1 日(8 時間程度)講座開催もできます。地方学校や企業(地方である必要はありません)様で社内研修として 10 名～20 名まで対応できます。講座会場はご用意ください。機械材料等の負担はありません、プロジェクト側で用意します。日程等は企業様の都合によって調整します。

2-1:開催学校・企業

学校(地方に限る)や団体・会社(どこでも可)でアドバンス講座を開催するために主な受講生等の募集と講座実施場所の提供ができる学校や企業・団体
講座内容は以下のメイクアップアドバンスのカリキュラムより選択

- 1:エアーブラシメイクアップ基礎
- 2:エアーブラシビューティ
- 3:エアーブラシアート・タトゥカバー基礎
- 4:特殊メイク傷
- 5:特殊メイク・ゾンビメイク、アプライアンス装着
- 6:死化粧解説

日程は講座内容により 1 日から 3 日を選択。

○メイクアップ アドバンス実証講座の決定状況はホームページをご覧ください。

<http://www.tva.ac.jp/airbrushPJT/>

学校開催:高知開催 5 日間、名古屋開催 6 日間、札幌開催 2 日間はすでに決定しています。

2-2:コース受講生(全日程参加必須)および聴講生

(上記地方・企業開催の際に定員に空きがある場合に受講できます)

開催学校や企業以外に所属している方でもOKです。

プロジェクト ホームページで日程を確認の上、参加申込して下さい。

3:実証講座に参加できない方対象:

3-1:27 年度本プロジェクトの成果物の送付請求

メイクアップ ラボ&アドバンス講座:問合せ先: メイクアップ ラボ プロジェクト運営委員長

参加企業マリブTEMPTU 浅野輝幸 090-3309-6529 asano@temptu.co.jp